



コミュニティ活動 かわら版

町内にあるさまざまなコミュニティの活動や情報、イベントなどをご紹介します。

「鳥獣害対策の第1歩」 ～生態を知ろう：ツキノワグマ～

富士見町有害鳥獣対策協議会(産業課 農林保全係) ☎62-9222

町にはあらゆる動物が生息していますが、その多様な動物生態系の頂点に立っているのが「ツキノワグマ」です。警戒心が強く、基本的には人を避ける動物ですが、最近は全国的に、登山や山菜取りで山に入ったときの人身事故の報告を聞くようになりました。平成30年は「クマ大量出沒年」とも言われており、例年8月の出沒が最も多いです。不幸な事故が起こらないよう、十分に注意しましょう。

- 食性：新芽や山菜、ドングリなど、植物中心の食べ物を好むが、虫やシカの死体など動物質も食べる。
- 生態：昼夜問わず活動するが、朝夕の薄暗い時間帯に盛んに活動する。冬眠をするので、脂肪をため込むために秋はより活発に行動する。
- 特徴：胸の白い月の輪の模様が名前の由来。鼻（嗅覚）と耳（聴覚）がとても良く、泳ぎや木登りも得意。
- 被害：ミツバチ箱を倒す等の農作物被害、山中での遭遇による人身事故。



対策 ①ミツバチ箱や果樹の周りには電気柵を張る

鼻の良いツキノワグマは、甘い匂いのするミツバチ箱や果樹に寄ってきます。また、学習能力が高く、食べ物への執着が強いため、おいしいものがあつた場所へ何度も現れます。力が強いので、ネットやトタン製の柵だと越えられたり壊されたりしてしまう可能性が高いため、電気柵での防除が効果的です。

②山での「バツタリ遭遇」を避ける

クマとの人身事故の多くは、クマの生息地である山林内で発生しています。山に入る時は鈴やラジオを携帯し、人間の存在をクマに知らせるようにしてください。川魚や山菜はクマにとってご馳走です。採取の際は周囲に十分気を配るようにしてください。



富士見町スポーツ少年団だより

富士見町スポーツ少年団事務局(町民センター内) ☎62-2400

南風ジュニアスポーツ少年団

南風ジュニアは、境小学校の児童を中心に野球に取り組んでいるスポーツ少年団です。毎週土曜日と日曜日の午前中、主に境小学校で練習しています。

今年は1年生6人、3年生2人の新メンバーを迎え、総勢23名になりました。野球が好きになる、野球で強い心をつくる、野球を通して仲間を大切にする、そんな活動をしています。

春から夏のシーズンは、諏訪内外の学童チームと試合をします。6年生は秋になると、普段はライバルの富士見町、原村の4小学校で合同チームを作り、仲間となつて一緒に練習や試合をします。

皆さんもぜひ一度、週末の境小に南風ジュニアを見に来てください。



練習日：土曜日と日曜日
 時間：午前8時～正午
 場所：境小学校
 団員：小学1～6年生